

総務文教委員会行政視察報告書

出席者：7人（峯寄委員長、野中副委員長、江原委員、増田委員、柳沢委員、島村委員、丑久保委員）

事務局：本間

視察：ごみ処理施設の整備について（行田市環境課）

日時：令和2年10月29日（木）午後1時30分～午後3時30分

場所：行田市小針クリーンセンター2階会議室 視察場所：建設予定地、古代蓮の里公園タワー

説明：行田市環境経済部長、環境課長、環境課参事

随員：小磯経済環境部長、山木環境課長

現在、羽生市とともに「ごみ処理広域化に係る勉強会」を行なっている行田市（小針クリーンセンター）に伺い、担当者より説明を受けた。小針クリーンセンターの焼却施設は昭和59年に整備され、老朽化が進み代替施設の建設が急務となっている。行田市では昨年まで鴻巣行田北本環境資源組合で広域ごみ処理施設の建設を目指していたが、計画の白紙撤回となったため、令和2年度に「ごみ処理基本構想」の策定にあわせ広域化の検討を行なっている状況である。行田市と羽生市との広域化勉強会については、令和2年6月から10月までに3回開催されており、ごみの分別化や有料化、組織体制、ごみ処理のフローなど、現状と今後についての確認を行なっているところである。行田市では、広域化の検討を含め新ごみ処理施設建設に向けて専任の担当を配置して取り組んでおり、早急に着手するための準備が着々と進んでいた。

・資料をもとに説明、その後、質疑応答を行なった。

【質疑応答】

島村委員 行田市で考える広域化の試算は。

環境経済部長 メリット・デメリットについては現在策定中の計画の中で試算している。20年間の総額の経費などを計画の発表までには出したいと思っている。広域化のメリットがなければ検討もしないので、相応のメリットがある額が提示できるものと考えている。

島村委員 今年度までには決断するものと思うが、行田市・羽生市とも平等になるようにお願いしたい。

環境経済部長 石井行田市長からも平等に検討するように指示されている。

- 島村委員 石井市長とも話をしているので分かっているが、公平に出来るようにお願いしたい。
- 丑久保委員 行田市では、5月の全員協議会で説明したようだが、議会の反応はどうか。
- 環境経済部長 全員の意見は聞いてはいないが、広域に反対する議員はいない。私は以前広域化が破談となったときの担当だったので、反省すべきことは反省して進めていきたいと考えている。
- 丑久保委員 羽生市は単独で話を進めてきたが、財政的に厳しいところがある。広域化にメリットがあるのであれば前向きに進めていきたい。
- 柳沢委員 行田市では単独での試算はしているのか。
- 環境経済部長 策定中の計画の中で試算している。
- 柳沢委員 小針での建設については、広域のみの話で進んでいるのか。
- 環境経済部長 昭和46年以来現在まで、行田市ではごみ処理を単独でやる意識はなかった。行田市では元々ごみ処理施設はものづくり大学の方にあり、8～10市町村に声掛けをして結果2市1町で始めたものである。
- 山木課長 旧吹上町とのごみ処理はどうするのか。
- 環境経済部長 鴻巣市と協議を始めている。今の施設を使い続けるのか、他に持っていくのか、鴻巣市の判断となる。
- 島村委員 旧吹上町も含んでの協議となるのか。
- 環境経済部長 一部事務組合が2つになることが可能かどうか県に確認している。新しい施設ができれば、行田市はそちらに行くことになる。
- 野中副委員長 広域化を進める中で住民説明等からの意見はあるか。
- 環境経済部長 地元説明を2回実施しているが、反対の意見はなかった。
- 江原委員 旧吹上町とは解散しないで鴻巣市に判断を委ねるとのことだが、自然消滅ということになるのか。

環境経済部長 ごみ処理が無くなれば、解体、財産処分をすることになる。

江原委員 ここは組合の土地・建物なのか。

環境経済部長 混在している。

柳沢委員 現状では維持管理にどのくらい費用がかかっているのか。羽生市では約2億円かかっている。

環境経済部長 組合では同じくらいかかっている。コンサルタントからは、お金をかければいつまでも持つと言われている。使っていけば修繕費は増えていく。

会議室での説明、質疑応答の後、行田市の考える建設予定地を見学、その後、古代蓮の里公園のタワーから全体の施設説明を受けた。

ごみ処理施設の整備についての視察の様子（行田市）

